

教科 科目名	数学	単位数(週あたりの授業時数)		1 単位
	数学Ⅱ	履修学年(類型)	1 学年	普通科
教科書名(出版社名)		高等学校数学Ⅱ(数研出版)		

●学習到達目標

式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分法と積分法について理解させ、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばす。更に、数学的な見方や考え方の良さを認識でき、主体的に学びに向かう態度を育てる。

●学習計画

学期	月	単元名	学習内容
3	1	① 式と証明 ② 複素数と方程式	① 整式の乗法・除法及び分数式の四則演算について理解できる。また、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。 ② 方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くこと及び因数分解を利用して高次方程式を解くことができる。
	2	② 複素数と方程式 ③ 図形と方程式	② 方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くこと及び因数分解を利用して高次方程式を解くことができる。 ③ 座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有効性を認識するとともに、事象の考察に活用できる。
	3	③ 図形と方程式	③ 座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有効性を認識するとともに、事象の考察に活用できる。

●観点別評価

3観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	数学的に意味づけや解釈しながら数学的に表現・処理したりすることができ、数学のよさに気づくことができる。	粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようことができ、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性をもつことができる。	問題を自立的・協動的に解決する過程を遂行することができ、さらに統合的・発展的に考察することができる。
B	数学的に表現・処理したりすることができ、数学のよさに気づくことができる。	粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようことができ、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度をもつことができる。	問題を自立的・協動的に解決する過程を遂行することができる。
C	数学的に表現・処理したりすることができる。	数学的論拠に基づいて判断しようことができ、問題解決の過程を振り返って考察を深めたりすることができる。	問題を自立的に解決する過程を遂行することができる。
評価方法	定期テスト 単元別テスト 課題の取り組み	定期テスト 単元別テスト 課題の取り組み	グループ活動での取り組み 数学の自由研究
評価の重み	$\alpha=0.5$	$\beta=0.3$	$\gamma=0.2$